

## 令和5年度 現職研修助成事業学校研修概要

### ICT活用による授業改善及び児童の情報活用力の向上 ～放課後ミニ研修『ロイロ部』を通して～

宇部市立川上小学校 ロイロ部

#### 1 目的

放課後ミニ研修での学びをもとに、宇部市で導入されているクラウド型授業支援アプリ「ロイロノート・スクール」を中心にICTを効果的に活用し、授業改善や児童の情報活用力の向上を図ることをめざす。

#### 2 活動の概要

##### (1) ロイロ部での学び

放課後の時間を活用し、本校の「ロイロ認定ティーチャー」が講師となり、年間11回のロイロ部を開催した。本校教職員を中心に隣接する中学校の教職員も参加した。

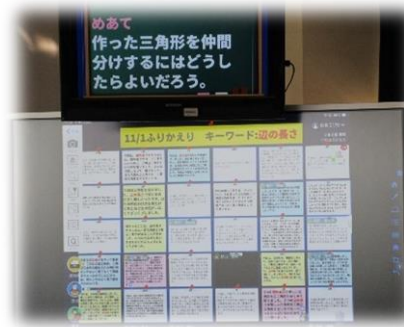
実施日時	研修内容	参加者
4月	はじめてのロイロノート	20人
5月	まだ間に合う！知って得するロイロノート	15人
6月	はじめての共有ノート	15人
7月	持ち帰りに向けて！ロイロで家庭学習	15人
9月	ロイロの小技・裏技紹介	20人
10月	ロイロ研修会の復伝、宇部授業の日授業体験	15人
11月	ロイロで遊ぼう！	15人
12月	ロイロ版やまぐちっ子プリント実践編	15人
1月	冬休み実践紹介、裏技便利技紹介	15人
2月	早押しNo.1決定戦、ロイロ最新機能	10人
3月	今年度のロイロ部振り返り	未定



## (2) ロイロ部での学びを实践へ

### ○ワークシートや振り返りカードの共有

自分の考えをまとめるだけでなく、友だちの考えを見ることができ、クラウド型授業支援アプリの良さである。また、授業者は画面上で全員の考えを見ることができ、理解度を確認できる。挙手した児童だけで進みがちな授業がワークシートや振り返りカードを一斉配信することにより、友だちの考えをもとに考えが深まったり、広がったりした。児童の授業への集中力が増し、意欲的に学ぶ姿を見ることができた。



### ○「やまぐちっ子学習プリント」の配信

ロイロで配信することで、C B T (Computer Based Testing) のように画面上で問題に解答できるようにし、授業や家庭学習で取り組んだ。紙媒体で解答する場合より意欲的に取り組む児童もいるなど短時間に多くの問題に手間をかけることなく、取り組むことができた。

### ○QRコード付き作品掲示

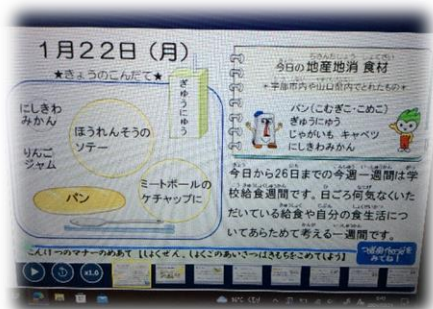
ロイロノートで作成した社会見学新聞などの作品を廊下に掲示。作品には、工夫した点など作品の説明を児童が音声録音しQRコードを付けた。

自分のクラスだけでなく、他のクラスの児童もQRコードを読み取り、作成者の思いを聞き取ることができた。



### ○委員会活動での活用

- ・運営委員会 校則見直しアンケートをロイロのアンケート機能で全校実施
- ・保健委員会 学校保健安全委員会に向け、取組を映像で紹介
- ・整美委員会 雑巾の使い方、洗い方の映像を撮影編集し、全校で視聴
- ・給食委員会 日々の給食献立をロイロノートで作成 児童が音声入力で紹介



### ○家庭学習での活用

音読やリコーダー練習の録音、掃除のビフォー・アフターの撮影、写真や動画も組み込んだプレゼン方式の自主学習などに取り組んだ。担任は、提出された映像にコメントを入れて返却。児童の家庭学習の取組に対する意欲が向上するとともに、音読や楽器演奏の上達が早くなった。

### ○地域の方々とのユニット型研修で活用

研究授業後の研究協議で、地域の方々を交えて、共有ノートを使用した研究協議



### ○アンケート機能の活用

- ・学校評価アンケート
- ・セレクト給食アンケート

## 3 成果と課題

昨年以上に今年度のロイロ部は参加者が増え、教職員のやる気がアップし、活性化したのを強く感じた。また、栄養教諭がアンケート機能を学び、セレクト給食の集計を行ったり、日々の給食献立のデジタル配信をしたりするなど、ロイロ部での学びを積極的に即実践に生かす教職員が増え、学校全体のICT活用力が上がってきている。抵抗感や苦手意識のあった教職員にもICT活用が進み、児童が意欲的に学び、個別最適で協働的な学びへと授業改善が進んでいる。

一人一台端末を持ち帰り、家庭学習とリンクすることで、授業内容の定着を図ることができた。また、家庭での学びにより授業が活性化した。受け身だった学びが主体的な学びへ変化してきている。

タブレットPC入力が多くなると、児童の書く力がつかないのではと心配されることが多いが、うまく使うことで、書く力のアップにもつながることが分かった。ノートに鉛筆で書くことが苦手な児童が、ロイロの振り返りカードを活用すると、タイピング機能でいつもより多くの文章を書き上げていた。(別紙資料「ロイロ部8」参照)

今後は、一人一台端末を生かした自由進度学習にも取り組み、さらに個別最適で協働的な学びへと授業改善を行っていく。

また、本校だけでなく、市内のどの学校からも参加できるように、さらに開かれたロイロ部にしていきたい。そして、日々の授業で困っていることなどを共有し、次の日に生かせるようなロイロ部になればと思う。